

～ ヒトや動物が弱っている時の特徴(靈的な観点からみた療養時の捉え方) ～

①【体力が回復するには、精神力が10になる必要がある】

- ・生命は、病気になると体力(身体のもつ生命エネルギー)が0になり、同時に精神力が低下する。
- ・精神力がダメージを受けて下がっている時に原理的に体力つけようとしても上がらない。
- ・体力は「有る」か「無い」のいずれでしかない(存在しない)。

上記の事実より、

②精神力が10になった時にはじめて、体力が「有る」、「存在する」という状態となる。

③食欲は体力に帰属しているので、体力がないと食欲は出ない。

\*上記の文章における「体力」は療養時の身体の力であり、運動時の「スタミナ」とは別のものである。

CASE1:老猫Cの場合

食欲がなく、衰弱し、暗い場所から出てこなくなっている。

1:依頼時:現状の靈視と波動測定を行う。

○身体的原因:背骨の関節が老化により体調が悪化し、体力がなくなり精神的に落ち込んでいる状態のため食欲が出ない。

○心象 :新入りの猫が馴染めていないことに対して心配があり、早く元気になって見守りたいと考えている。

→ 専属の男性スタッフにより、遠隔での施術を実施。

施術後は約10日を目安に経過観察する。

1日目

精神力	3/10
体力	無い

2日目

精神力	5/10
-----	------

体力	無い
----	----

3日目

精神力	7/10
-----	------

4日目

精神力	9/10
-----	------

>>精神力が9の数値から10の数値にかけては数日時間がかかる。

5日目

精神力	9/10
-----	------

6日目

精神力	9/10
-----	------

7日目

精神力	9/10
-----	------

8日目

精神力	10/10
-----	-------

>>精神力が10の数値に達すると動き回り、食欲が出始める。

体温が上がる。

9日目

精神力	10/10
-----	-------

10日目

精神力

10/10

体力

有る